

保育士不足の対策を

町 計画的採用へ、正職員の数は減らさない

問 臨時保育士が不足し、「保育に余裕がない。仕事があきつい」との声が上がっている。

更なる臨時保育士の待遇改善、潜在保育士の掘り起こし対策は。

子ども未来課長 保育士の確保に当たっている。潜在保育士の掘り起こしを進めていく。

問 正職員の数は減らさないようにできるのか。

子ども未来課長 現職の正職員の保育士数は、減らさない方向で総務課と協議しながら、計画的な採用に努めたい。

問 統合には反対の声も多くあり、また民営化は保育の質を保つことが難しく、よりよい保育にとって

は逆行ではないか。

子ども未来課長 民間活力を導入する目的は、今後の保育ニーズや施設の老朽化に対応するためである。

町としては、限られた財源を最大限に活用し、保育サービスの向上と保育園全体の運営体制の強化を図り、民間活力の導入が必要であると考える。

男女共同参画都市宣言は

町 宣言は今後検討する

問 男女共同参画推進のために努力している団体、個人を後押しするため、推進の「宣言」を行う考えは。

町長 女性の地位向上、共

同参画社会の実現のため「宣言」が必要なら、これから検討していきたい。

問 災害の時に「災害弱者」となる確率の高い女性を守る対策は。

総務課長 防災計画の中で災害時の避難所では運営における女性の参加、女性への配慮、プライバシーの確保や安全確保などが必要と考える。

避難所マニュアルは、現

在検討中である。

問 議会傍聴や各種審議会に参加しやすくするために会議時に託児をする考えは。

子ども未来課長 現在、町の各種イベントや検診などで託児を実施している。子育て世代を含む若者の意見を町に反映させる上で必要が増すと考え、需要や託児方法を検討をする。



小野 曜子



那須町女性団体連絡協議会「みんなの集い」
平成28年2月6日



楽しいおやつタイム（年長児のクッキング）